

エコアクション21

2016年度 環境活動レポート

(2016年4月～2017年3月)



2017年6月1日 作成

八幡電機精工株式会社

I. 事業の概要

1. 事業所

- (1)名称 八幡電機精工株式会社 本社及び工場
(2)所在地 〒807-0801 北九州市八幡西区大字本城2805番地
TEL: 093-691-2331 FAX: 093-603-2556
<http://www.yawata.co.jp>

2. 関連事業所

- (1)名称 若松工場
(2)所在地 〒808-0109 北九州市若松区南二島4-13-14
TEL: 093-701-0500 FAX: 093-701-0506

※若松工場は2016年9月20日をもって閉鎖し、本社に集約した。

3. 代表取締役社長 菊竹 浩和

4. 環境管理責任者氏名及びEA21事務局担当者の連絡先

- (1)責任者 環境管理責任者 総務部長 栗野 泰志
(2)担当者 EA21事務局 総務部 信近 竜也
(3)連絡先 TEL: 093-691-2331 FAX: 093-603-2556

5. 事業内容

- (1)業 種 電気機械器具製造及び販売業
(2)主力製品 [回転機]
・発電機(エンジン発電機・高周波電動発電機・直流発電機)
・電動機(かご形モータ・直流モータ・巻線形モータ・船舶用モータ)
・可変速電動機(インバータモータ・VSMモータ・高速スピンドルモータ)
・制御用電動機(ACサーボモータ・DCサーボモータ・半導体装置用モータ)
[自動機械・装置]
・発電装置(周波数変換装置・車載発電装置)
・病院設備(注射薬自動払出装置)
・水産設備(魚体選別機・ホタテ貝穴あけ機)

Ⅱ. 環境方針

《環境方針》

Ⅰ. 基本理念

八幡電機精工株式会社は、モータや発電機およびそれらを応用した装置製品の製造・販売の事業活動の中で、地球環境に配慮した企業となるために、次の行動指針を定め行動します。

Ⅱ. 行動指針

1. すべての事業活動の中で省資源・省エネルギーに努め、環境負荷の軽減に努めます。
具体的には次の6項目を全員で取り組みます。
 - ① 電力、化石燃料類の使用量を削減し、二酸化炭素排出量を抑制します。
 - ② 廃棄物の削減および分別収集により、環境負荷低減とリサイクルに努めます。
 - ③ 水使用量を削減します。
 - ④ 環境に配慮した部品や商品などのグリーン調達およびグリーン購入を推進します。
 - ⑤ 化学物質の使用量を削減し、環境負荷低減に努めます。
 - ⑥ 製造時の仕損削減に努めます。
2. 環境関連法規および当社が同意した各種協定を遵守します。
3. 環境方針を全職場に掲示し、すべての従業員に周知徹底します。
4. 環境教育や社内広報活動などを行い、環境保全活動の周知徹底に努めます。

2013年3月21日 改定

八幡電機精工株式会社

代表取締役社長 菊竹 浩和

Ⅲ. 環境目標

1. 2009年度以降の目標

(1) 2016年度以降は2013～2015年度の平均実績値をベースに毎年1%削減を目標とした

必須項目 (2010～12年度の実績値をベースとして削減する)	単位	2013～2015年度 平均実績	2016年度	2017年度	2018年度
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2/百万円	576.0	570.2 (1%)	564.5 (2%)	558.7 (3%)
廃棄物総排出量の削減	kg/百万円	22.36	22.14 (1%)	21.91 (2%)	21.69 (3%)
総排水量の削減	m3/百万円	0.960	0.950 (1%)	0.941 (2%)	0.931 (3%)
グリーン購入の推進	品目総数 (新規追加品目)	10.7	5	5	5
化学物質排出量の削減	kg/百万円	2.390	2.366 (1%)	2.342 (2%)	2.318 (3%)
環境保全活動 (本社・工場周辺の清掃活動)	月当たり1回以上				

※二酸化炭素排出係数は過去分も含め九州電力の平成26年度の実排出係数(0.584kg-CO2/kWh)を使用しております。

※製造時の仕損削減の目標については、他社分も含めて管理するためEA21では目標管理を行わない。

Ⅳ. 主要な環境活動計画の内容

1. 二酸化炭素排出量の削減の取組み

(1) 電気使用量の削減

- ① エアコン設定温度の管理強化
- ② エアコンフィルターの定期的清掃の実施
- ③ 昼休みの空調間引き運転
- ④ 工場屋根、壁面遮熱塗装の実施
- ⑤ 昼休みの消灯
- ⑥ 省エネ型空調の導入
- ⑦ コンプレッサーのエア漏れチェックおよびエア漏れ予防の推進
- ⑧ トイレ、更衣室、厨房等の蛍光灯のこまめな消灯
- ⑨ 事務所キャビンスイッチによる帰社時の消灯徹底
- ⑩ LED照明機器への切替
- ⑪ 電化製品購入時の省エネ品選択

(2) ガソリン、軽油、ガス使用量の削減

- ① 自動車のエコ運転実施(ガソリン、軽油)
- ② 高燃費社用車の優先使用による燃費向上
- ③ 焼鈍炉の焼鈍日設定、まとめ焼鈍による時間の効率化
- ④ アルミ溶解炉(ガス炉)の効率運転

2. 廃棄物排出量の削減の取組み

(1) 金属クズの削減

- ① 製造工程で排出される金属クズ(鉄・銅・アルミ等)の分別収集の実施
(また有価物として売却した金属クズについては対象外とする)

(2) 紙クズの削減

- ① 全社に紙専用BOXを設置による分別収集の実施
(また有価物として売却した紙クズについては対象外とする)
- ② 裏紙の再利用
- ③ 両面コピーの推進
- ④ 社内資料裏紙の推進
- ⑤ 段ボールの分別収集の実施
- ⑥ コピー機の製本機能利用による複数枚コピー時の紙使用数削減

3. 総排水量の削減の取組み

- (1) 節水による削減
 - ① 水道メーターチェックによる水漏れの確認
 - ② 水道蛇口の閉め忘れチェック
 - ③ 漏水箇所の修繕

4. グリーン調達及び購入の推進の取組み

- (1) グリーン調達及び購入の推進
 - ① 工場消耗品のエコ商品への切替
 - ② 作業材料のエコ商品への切替

5. 化学物質排出量の削減の取組み

- (1) 化学物質の削減
 - ① 在庫塗料使用による塗料の廃棄量削減
 - ② 洗浄液の再利用(濾過器設置)による購入量削減

6. 製造時の仕損削減の取組み

- (1) 帳票類の有効活用による仕損工数削減
 - ① 作業標準の遵守による仕損削減
 - ② チェックシート等の活用による仕損削減

7. 環境保全活動の取組み

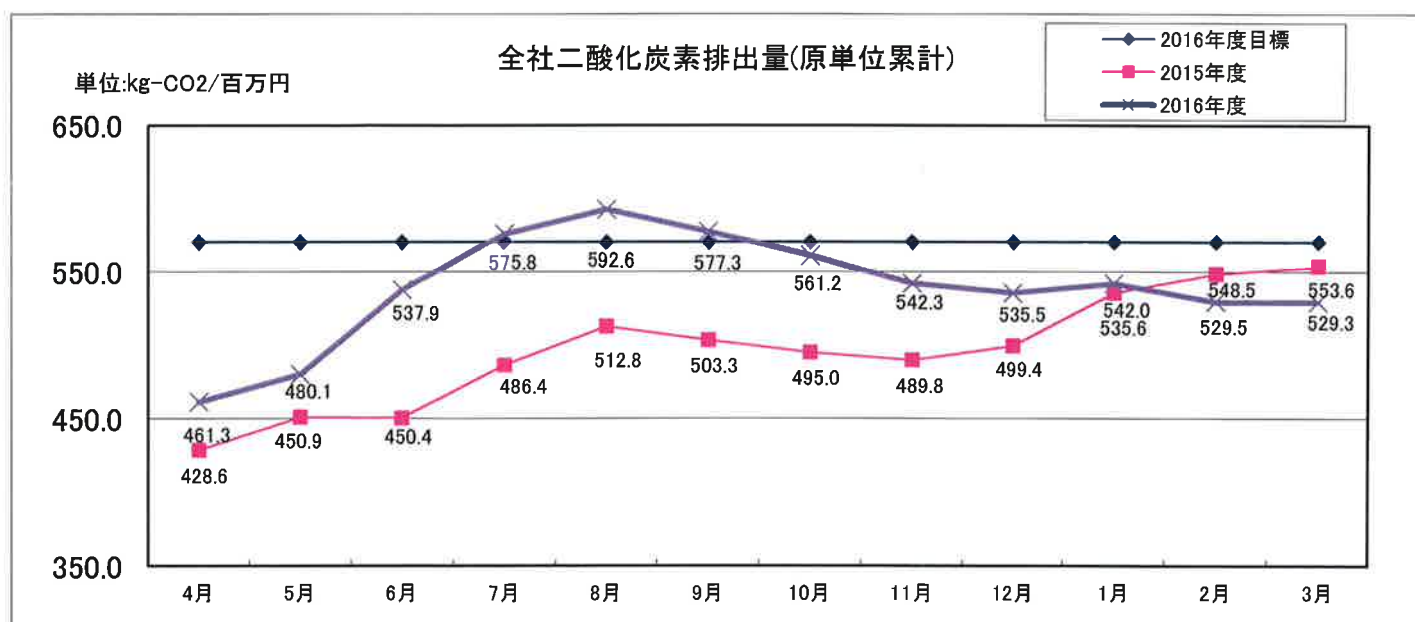
- (1) 本社、工場外周の清掃活動

V. 環境目標の実績

1. 二酸化炭素排出量の削減…目標達成

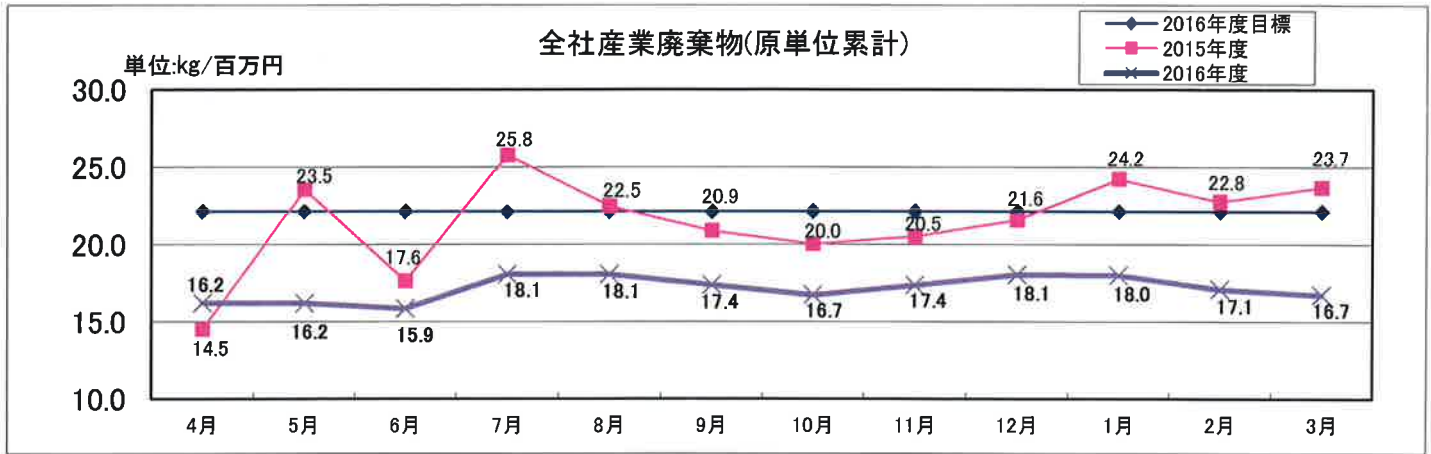
目標(570.2kg-CO₂/百万円)

実績(529.3kg-CO₂/百万円)



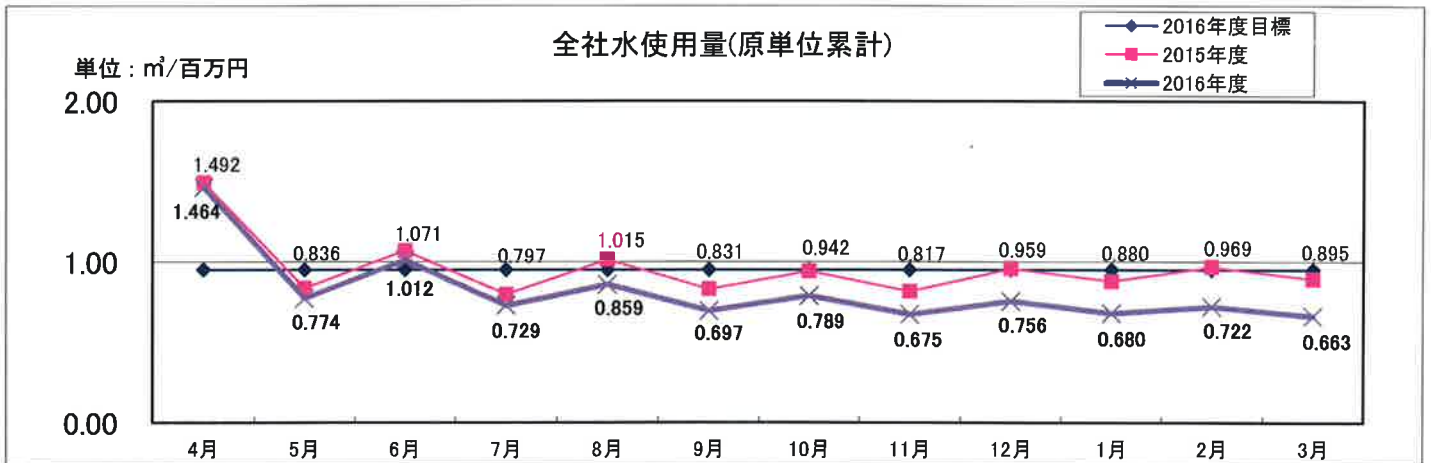
2. 廃棄物総排出量の削減・・・目標未達成

目標(22.14kg/百万円)
実績(16.7kg/百万円)



3. 総排水量の削減・・・目標未達成

目標(0.951m³/百万円)
実績(0.663m³/百万円)



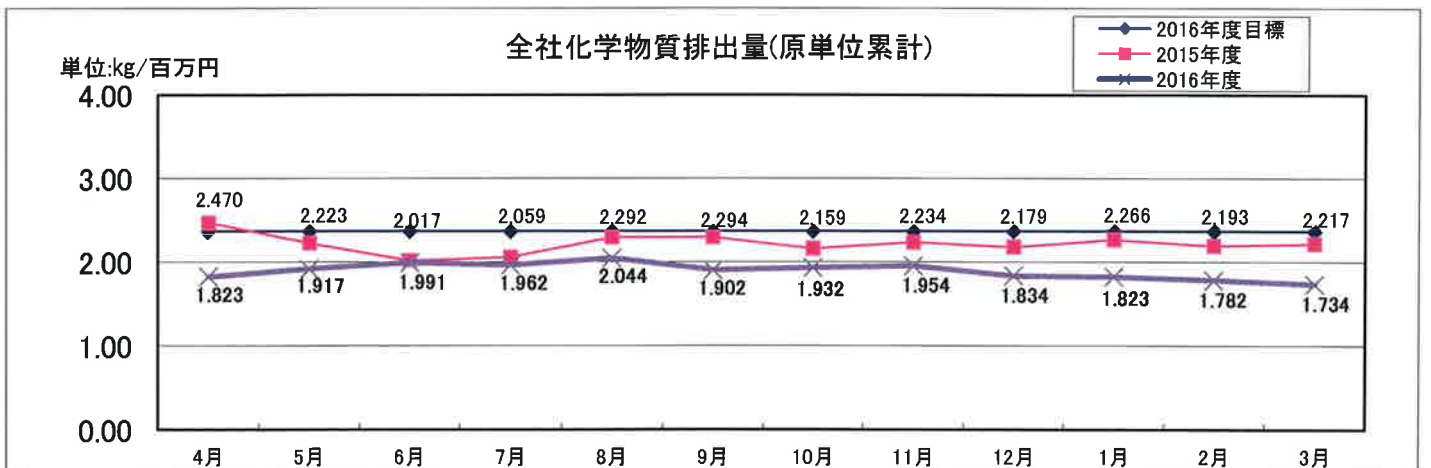
4. グリーン調達および購入の推進・・・目標達成

目標(新規品目5件)
実績(新規品目24件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規切替件数	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	2	1	24
累計切替件数	0	6	9	11	13	15	17	19	20	21	23	24	24

5. 化学物質排出量の削減・・・目標達成

目標(2.366kg/百万円)
実績(1.734kg/百万円)



VI.環境活動の取組結果の評価

2016年度については、IV項の環境活動を着実に実施しました。
実績については次の通りです。(下表参照ください)

必須項目	負荷量	2015年度 実績	2016年度		
			目標(A)	実績(B)	(B)/(A) (%)
年間売上高	(単位:百万円)	2,933		3,460 ※1	
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2/年)	1,498,955		1,831,194	
	原単位(kg-CO2/百万円)	553.6	570.2	529.2	92.8
主要 項目	電力使用量	総量(kWh)	2,566,705	2,894,345	
		原単位(kWh/百万円)	875.1	911.2	836.5
	ガス使用量	総量(m3)	32,676	38,714	
		原単位(l/百万円)	11.14	11.761	11.19
	ガソリン使用量	総量(リットル)	5,965	4,278	
		原単位(l/百万円)	2.03	2.177	1.24
	軽油使用量	総量(リットル)	3,587	3,095	
		原単位(l/百万円)	1.22	1.415	0.89
廃棄物総排出量	総量(kg/年)	69,505		57,885	
	原単位(kg/百万円)	23.7	22.14	16.7	75.6
総排水量	総量(m3/年)	2,628		2,297	
	原単位(m3/百万円)	0.896	0.951	0.664	69.8
グリーン調達及び 購入の推進	品目総数(新規調達)	6	5	24	480.0
化学物質排出量 の削減	総量(kg/年)	6,503		6,001	
	原単位(kg/百万円)	2.217	2.366	1.734	73.3

*二酸化炭素排出係数は過去分も含め九州電力の平成26年度の実排出係数(0.584kg-CO2/kWh)を使用しております。
※1 新規に移管を受けた小形Σモータの受注は、通常の製品(材料費+工賃)とは違い、工賃のみの売上高となっていて材料は支給されているため、売上高を2倍として計算しています。

1. 二酸化炭素排出量の削減

2016年度は、2013～2015年度の平均実績値をベースに1%削減を目標としました。総排出量が対前年比22%増加しましたが、売上高が18%増加したことと、継続している節電活動により目標を達成できました。

[主要項目の活動]

(1) 電力使用量は、対前年比13%増加しましたが、売上高が増加したことと、日々の節電活動により目標を達成できました。

エアコン用デマンドコントロールを設置したため、エアコンの電力削減となりました。また、照明のこまめな消灯やエアコンの温度管理、コンプレッサーのエア漏れチェック、事務所蛍光灯キャノピスイッチでこまめな消灯、老朽化した設備5台の入替えを行いました。

(2) ガス使用量は、対前年比19%増加しましたが、売上高が増加したことと、焼鈍炉のまとめ焼鈍により効率的な運用を心掛け、目標を達成できました。

(3) ガソリン使用量は、電気自動車導入によるガソリン使用量の削減、社用車のエコドライブの実施や高燃費社用車の優先使用、営業車の車両入替え(ハイブリッド車へ入替え)により、目標を達成できました。

(4) 軽油使用量は、エコドライブの推進により、目標を達成できました。

2. 廃棄物排出量の削減

紙の分別収集を強化、検査職場のブース廃油の処分回数が減少したことにより、総排出量は対前年比17%減少となり、目標を達成できました。

[主な活動]

(1) 紙の分別については、紙専用BOXを製造現場に設置し紙の分別収集強化とパトロールを実施しました。有価物として売却した紙クズは、対前年比18%増加となりました。

(2) 空き缶・ペットボトルの分別強化として、空き缶・ペットボトル用のゴミ箱設置台数を増やしました。(空き缶・ペットボトルは、自動販売機設置業者の引き取りとしている)

3. 総排水量の削減

水道メータの朝・夕毎日確認による異常の早期発見や、ポスター掲示等で節水の徹底、劣化した水道配管の補修を行ったことにより、総排水量は対前年比13%減少となり、目標を達成できました。

[主な活動]

- (1) 毎日、朝夕の水道メーターチェックを行いました。
- (2) 水道の蛇口の閉め忘れチェック、節水のポスター掲示を行いました。
- (3) 漏水箇所や劣化した水道配管の速やかな補修を行いました。
- (4) 洋式トイレの便器を節水タイプへ交換しました。(3月度交換:1回あたり4Lの節水が見込める)

4. グリーン調達及び購入の推進

グリーン調達及び購入の推進強化により、対前年比4倍の件数となり、目標を達成できました。

5. 化学物質排出量の削減

塗料の在庫引き当てによる管理や洗浄液再利用により、総排出量は対前年比8%減少となり、目標を達成できました。

[主な活動]

- (1) 塗料の在庫管理強化により、廃棄塗料減少を推進しました。
- (2) 洗浄液は、洗浄液用の濾過器を設置し、再使用しました。

6. 環境保全活動の取組み

環境保全活動として、会社周辺の側溝の清掃、ゴミ拾い、除草作業を実施しました。また近隣住民の要望に応えるため、住宅地近くの雑木林に除草シートを設置し、住宅に竹や雑草が入り込まないようにしました。

VII. 次年度の取組み内容

今年度は売上が大幅に増加したことや活動の効果がでたため、すべての項目で目標を達成できました。次年度については、昨年実施したエアコン用デマンドコントロールの設置、工場スレートフックボルトにキャップをすべて被せたため、エアコンの電力使用量削減が見込めます。また、昨年末より導入しているノー残業デー(給料日および賞与支給日)も引き続き実施していきます。今後も環境活動を継続的に取組み、二酸化炭素排出量の更なる削減を目指し、次年度もすべての項目で目標を達成できるよう努力していきます。

VIII. 環境関連法規等の遵守状況

当社の事業活動に関わる環境関連法規等について当社でチェックした結果、違反は過去3年間ありません。また、関係機関からも特に指摘はなく、訴訟についてもありません。

IX. 経営の全体の評価と見直しについて

2016年度の目標達成状況は、売上が大幅に増加したことにより、すべての項目で目標達成となりました。全体の評価としては、環境経営システムは有効に機能しており、環境目標達成に向けた取組みが適切に実施されていると判断しました。次年度も2016年度に実施した活動を継続させ、すべての項目で目標を達成させたいと思います。

2017年度も全社一丸となってエコアクション21の活動に取組み、二酸化炭素排出量の削減に貢献するよう指示しました。

今後もエコアクション21を継続して取組み、省エネ・コストダウン及び社会貢献となることを期待します。

八幡電機精工株式会社

代表取締役社長 菊 竹 浩 和